

特集

富山観光物産センター

県庁探訪/医務課

ふるさとみてある記/太山町

ひと

アズ
とやま

森の案内人

森林インストラクター 島田誠治さん

「今はまさに心の豊かさを求める時代です。多くの人が自然の中でのおびりと過ごしたいと願っています。そういった人たちが楽しく自然と付き合えるように手助けをしたいと思って応募しました。」レクリエーションや森林浴などで森を訪れる人たちに、野外活動の指導や毒キノコの見分け方、樹木の種類などを教える森林インストラクターの第一回試験の合格者が昨年の十二月に発表されました。全国四百五十二人の受験者の中から四十九人が合格しましたが、県内からは二人で、そのうちの一人が城端町の島田誠治さん。栄えある森林インストラクター第一期生の島田さんに勤務先の緑豊かな福野高校でお話を伺いました。

島田さんは城端の山すそにある農村地帯で農家の長男として育ち、子どものころから一年中野山を駆け回っていたとのこと。そんな環境の中で育ったせいか、現在でも野山を歩くのが大好きとのこと。ライフワークの一端として、ごく自然に森林インストラクターの活動を行っています。趣味は子どもと一緒に部活動をするということ。熱血先生で、実際に教えているスキーは、国体に何回も出場する程の腕前とか。元気がこちらに伝わってくるようなエネルギーな先生です。

「新婚旅行でカナダのバンフー国立公園へ行きましたが、森林公園の中に街があるのを見て大変驚きました。ゴミが一つもなく、野生動物が道を横切ると車がピタッと止まります。人はのんびりとして大らかです。そして誰もが気軽に森林解説をしてくださいました。人間と自然の見事なハーモニーに深く感動しました。」

将来は森林指導員制度の進んだ北欧や北米へ勉強に行きたいという夢をもっている島田さん。今後もより多くの人に、富山の美しい森を語っていきます。



「立山」と「雪」と

俳人「辛夷」主宰 福永鳴風

立山のかぶさる町や水を打つ 前田普羅
富山県人なら誰でも「立山のかぶさる町」の表現になるほどと思われる。この句は私の旧師・前田普羅が詠んだもの。普羅は千葉県出身。関東大震災の翌年、横浜から当時の報知新聞富山支局長として着任した。普羅は赴任の下相談を受けて「島流しのようにも思ったが、立山あり、黒部峡谷あり、飛騨に接し能登にも近く、山河に遊ぶ心地」と思い直して承諾されたと聞いた。師は着任の一夜が明けて、郊外の田圃の畦に立って「終に立山の下に來た、私の目から涙がとめどなく流れ

普羅と水魚の交わりのあった、故・棟方志功画伯の銅板のレリーフには「わが俳句は、俳句のためにあらず、更に高く深きものへの階段に過ぎずの普羅の信念が彫られ、その横には、先師・中島杏子の選ばれた「雪」の五句が刻まれている。

大雪となりて今日よりお正月
雪の夜や家をあふる童声
うしろより初雪降り夜の町
雪山に雪の降り居る夕かな
オリオンの真下春立つ雪の宿
雪国に住む私たちの生活と「雪」とは切っ

た」とも云われたと云う。又、句集の小伝の一節にも「越中に移り来りて相對したる濃厚なる自然味と、山嶽の偉容とは、次第にわが人生観、自然観に大いなる変化を起しつづつあるを知り、居を越中に定めて現在に至る」とも書かれている。越中人でない普羅をかくまで愛しつづけさせた富山の自然美は、私のように、富山で生まれ、育ち、骨を埋める者にとっても誇るべきだと思う。

私は句作に迷いを感じた時、旧師・普羅をなつかしく思う時、迷うことなく、富山城址の「普羅文学碑」を訪うことにしている。

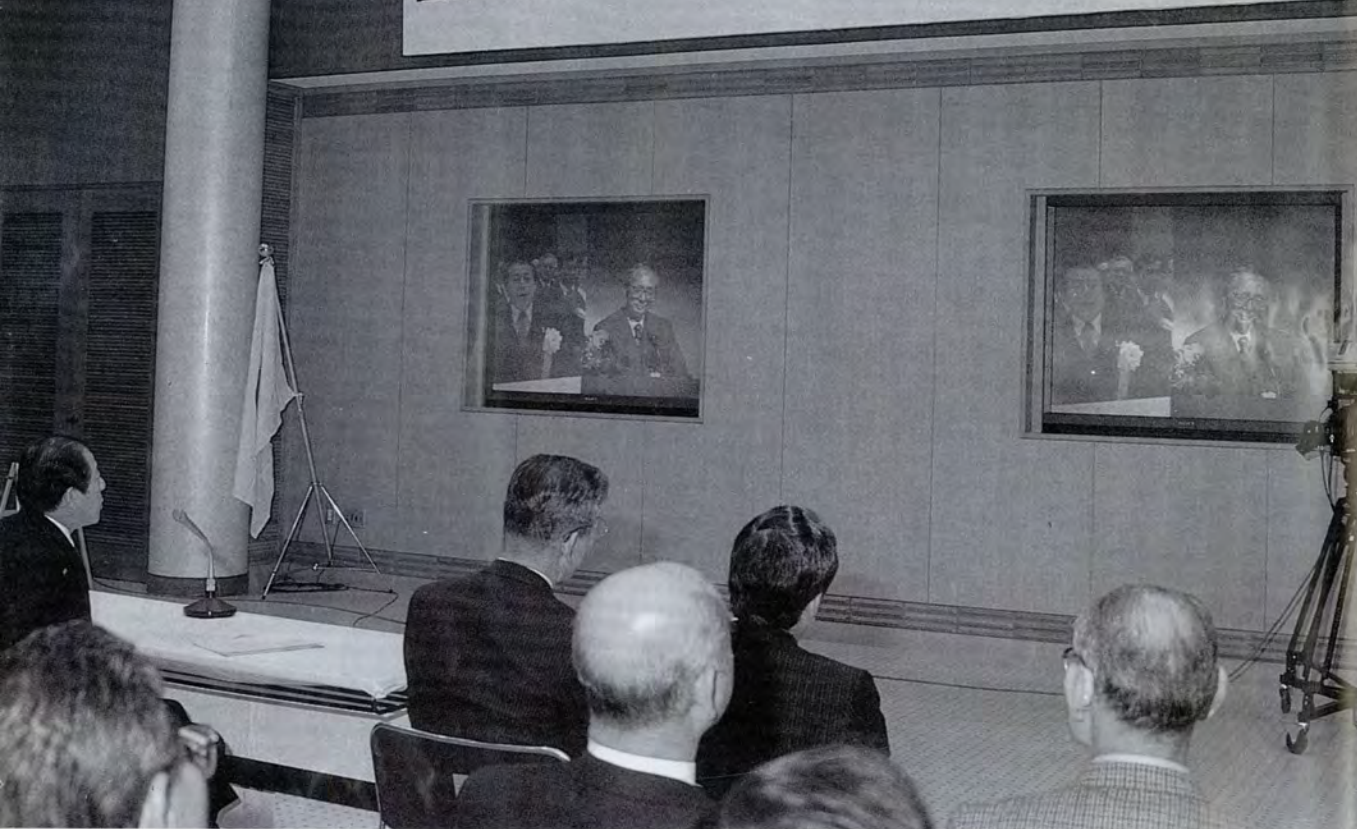
俳人「辛夷」主宰 福永鳴風

てもきれない縁がある。これらの句は私たちの祖先が昔から風雪に耐えてきた暮しを思い出させてくれる。又、私の子ども頃は雪が多く積った。家々の屋根から下ろした雪が馬の背のように家の前の道を埋めた。その後、何度か豪雪に見舞われたが、近年は、ほとんど雪のない正月を迎えることが多くなった。身勝手とは思いつつながら、雪国に住む私には雪のない暮しにはいちまつ淋しさを感じる。

さて、昭和三十八年に建立された、この文学碑も銅板の緑青が垂れて、いっそう寂びた風情と月日の流れを思わせられてならない。



富山県高度情報通信ネットワーク開局記念式



衛星通信で全国へ情報発信

富山県高度情報通信ネットワーク●開局



通信衛星を利用して国や各自治体間を情報で結ぶ「高度情報通信ネットワーク」の開局式が一月十七日、県庁大ホールで行われました。

このネットワーク事業は、従来の防災行政無線に代わる新しいシステムとして、県下全域を通信衛星を使って結ぶという富山県の構想がきっかけとなって、自治省が国レベルで取り組んだもので、この日は全国に先駆けてこのシステムを導入した東京都、富山県、そして兵庫県を結ぶ記念テレビ中継が行われました。

中沖知事は、県庁大ホールに設置された七十インチの大型プロジェクターを通じて塩川自治大臣とテレビ対話を行い、「本県がこのシステムの産みの親だと思っています。これから全国にこのシステムが導入され、機能が充実することを期待しております」と述べました。またこの日は、極楽坂スキー場に移動中継車が設置され、ミスJETTらが笑顔いっぱい、今年開催されるエキスポとやま博をPRしました。



雪を活かした公園づくり

スノーアートとやま'92●開催



自然に降りつもる雪の美しさを活かしたスノーアートが、県庁前公園に出現。これは県の雪に強い魅力ある都市環境づくり事業の一環で、「雪を活かした公園づくり」として元年度から実施しているものです。

今年のテーマ造形は、造園の伝統技法をメインテーマとした「公園の冬支度」。竹や縄を使った巨大な雪吊りや氷の雪囲いが展示されたほか、水の流れや光を利用した雪美流しや雪美竹垣、雪美遊具も設置され、行きかう人の目を引いていました。

一月十六日からは夜のライトアップが行われ、公園は幻想的な雰囲気になりました。



リフォームファッションでリサイクル

省資源・省エネルギー運動富山県民大会開催



▲左から吉友嘉久子氏、リチャード・コーエン氏、天坂仁美氏



▲左からヘンリー・ヘイマン氏、ウィルマ・デボア氏、渡辺妙子氏

エネルギーや資源の有効利用を一人ひとりの生活のレベルから考えていこうと「省資源・省エネルギー運動富山県民大会」が二月一日富山市のマリエとやま七階「オルビス」で開催されました。

大会では、たんに眠っていた古着やカーテンなどを利用したリフォームファッションショーや、海外での省エネの現状を聞くシンポジウム「くらし見聞録」などが行われました。

リフォームファッションショーでは、県消費者協会のグループや高校家庭クラブ員などが自らモデルにふんし、七十点余の作品を次々と紹介。立ち見でいっぱい会場からは、個性あふれるファッションに歓声があがっていました。

このほか、省エネ活動を推進している優良五団体が表彰されました。



友好の確かな証 四島返還

北方領土の日 記念事業



北方領土返還要求運動富山県民会議結成十周年と二月七日の「北方領土の日」を記念した講演会・街頭キャンペーンが一月十八日に富山市などで行われ、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方四島の早期返還実現を県民にアピールしました。

北方領土の日は、一八五五年二月七日に結ばれた「日露通好条約」において、日本とロシアの国境が択捉島とウルップ島の間に決められたことにちなみ、昭和五十六年に制定されたものです。

記念講演会は、富山市の農協会館で開かれ、元NHK解説委員長の家城啓一郎氏が「これからの日ロ関係と北方領土問題」と題して講演。参加者約二百五十人が、領土問題への理解を深めました。

午後からは折からの寒い天候の中、富山西武前でパンフレットの配布や署名活動とともに、旬の魚介を煮込んだアツアツの北方領土返還祈願なべのサービスが行われました。



ニューメディア駆使のリアルタイムな観光情報

富山の各種情報をキャブテンやパソコン通信等のニューメディアで、リアルタイムに提供します。提供する情報は、観光案内情報を始めイベント情報、宿泊情報、交通情報、気象情報などですが、この他、県内外のイベントのチケット予約・販売やショッピングガイド、スポーツ&レジャーガイド等を行います。

また、日本海の生きた魚が泳ぐ水槽を

I NFOMART 観光情報ゾーン

施設概要

TOYAMAを体感するときめきのビッグフロアーは七つのゾーンから構成されています。

- 機能**
- ① 地場産業の振興
 - ② 観光の振興
 - ③ 各種情報の提供
 - ④ 県民相互及び県外客との交流の促進



設置するほか、立山・黒部の四季をとらえたパネル・コルトン等のディスプレイにより、大自然のパノラマが満喫できる《富山湾・立山・黒部コーナー》もあります。

さらに《キャンペーンコーナー》も設け、富山の企業や市町村のデモンストラーション・キャンペーンのスペースとして活用します。また、《ビデオガイドコーナー》は、富山のみどころを紹介したワイドなイラストマップや、60もの映像情報をつめこんだビデオブースが設置されており、とても楽しいコーナーです。

○案内時間／AM 10:00～PM 8:00

富山の民謡や郷土芸能の数々をその場で観賞したり、各種の物産展や見本市の開催が可能なゆとり多目的ホールです。また、ホールの中央部には二分割できる間仕切りパネルを完備し、中小の会議やミニイベントにも対応できます。

○活用範囲／ファッションショー、音楽発表、講演会、文化講座、パーティー、

H ALL 多目的ホール

“大迫力のAVでTOYAMAの四季をまるごと体感”

150インチの鮮明なワイドスクリーン映像と体感を演出する重低音装置（ボイスニック）、さらに立体迫力音響を駆使して富山の四季や各地の祭等を擬似体験し、富山観光の醍醐味を体感できる空間です。

○客席数／32席

T HEATER AVホール

特集 富山観光情報ステーション誕生 とやま観光物産センター・いきいきKAN 3月19日オープン



駅前再開発ビルCiC



富山がわかるライブメディア
いきいきKAN
(財)とやま観光物産センター

県都の玄関口、富山駅前再開発ビル（通称「CiC（シック）」）5階に、さまざまな富山情報を集め発信する「とやま観光物産センター・いきいきKAN」がオープンします。

同センターは、そのシンボルキャラクターの「いきいき缶（KAN）」が示すとおり富山が持つ観光資源の豊かさ、すばらしさを県内外の人に広くアピールするとともに、観光情報や文化・特産品など富山の魅力をいっぱい詰め込んだ情報ステーションです。観光物産施設としては全国最大のスケールで、3,000㎡のビッグなフロアーに「リトルとやま」を再現。ハイテクや情報ネットワークを駆使して、居ながらにして富山を体験・体感できる数々のスポットがあり、遊びどころいっぱいワンフロアーにその多彩な魅力を繰り広げます。今回はこの「いきいきKAN」の概要についておしらせします。



富山がわかるライブメディア

いきいきKAN



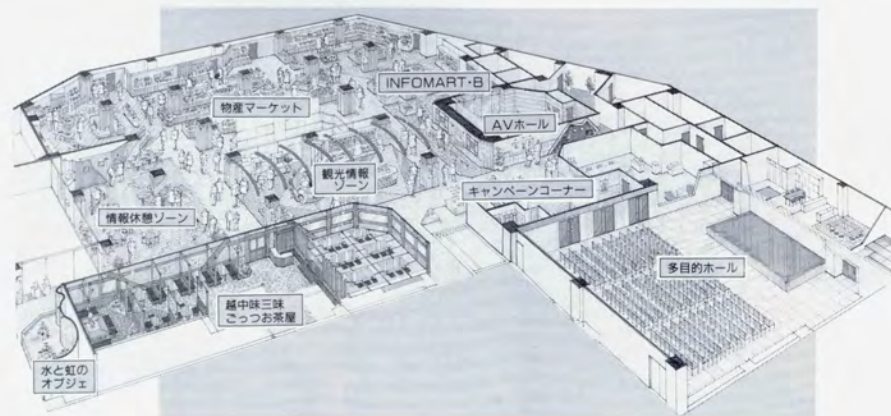
“TOYAMAのイメージを奏で、
水と光と虹”

メインエレベータの正面に位置する、
富山のシンボル・オブジェです。立山連
峰と富山の豊かな水や自然を連想させる
その輝きは、同時に「いきいきKAN」
のイメージの創出でもあります。水と光
の織りなすきらめきは美しい虹の幻想を
映し出し、訪れる人々を魅了します。

○オブジェ・タイトル／『水と虹のシン
フォニー』 制作者…大伴二三弥

S
YMBOL

水と虹のオブジェ



合掌造り民家の内部をイメージした飲
食ゾーンです。富山の食文化を紹介する
ために、古くから伝わる利賀そば、氷見
うどんなど富山を代表する郷土料理や薬
膳料理を提供します。店内の調度品類に
も富山産品を使用し、「こつつお」とよば
れる富山ならではのおもてなしで、おい
しい料理とうまい地酒が堪能できます。

○席数／74席
○メニュー

- ・昼の部／単品・定食（幕の内・松花堂
弁当など）
- ・夜の部／一品料理・会席料理

○営業時間／AM 10:00～PM 11:00

T
ASTE

越中三味
こつつお茶屋

“越中のもてなしに舌鼓をうてば、
「こつつお」の味が
じわっと沁みしてくる”



とやまがわかるライブメディア



いきいきKAN



M
ART

物産マーケット

“味と技と物産情報が満載、
メイドイン・TOYAMAの
一大マーケット”

物産の販売も情報の受信、発信の一つ
としてとらえ、アンテナショップとしての
機能を確保することにより、県内外の
消費動向を把握しつつ、展示即売の活性
化を図り、富山産品の全てを紹介する場
とします。「富山のくすり」については、
販売と同時にその歴史や製法なども紹介
します。

○展示・販売物産品

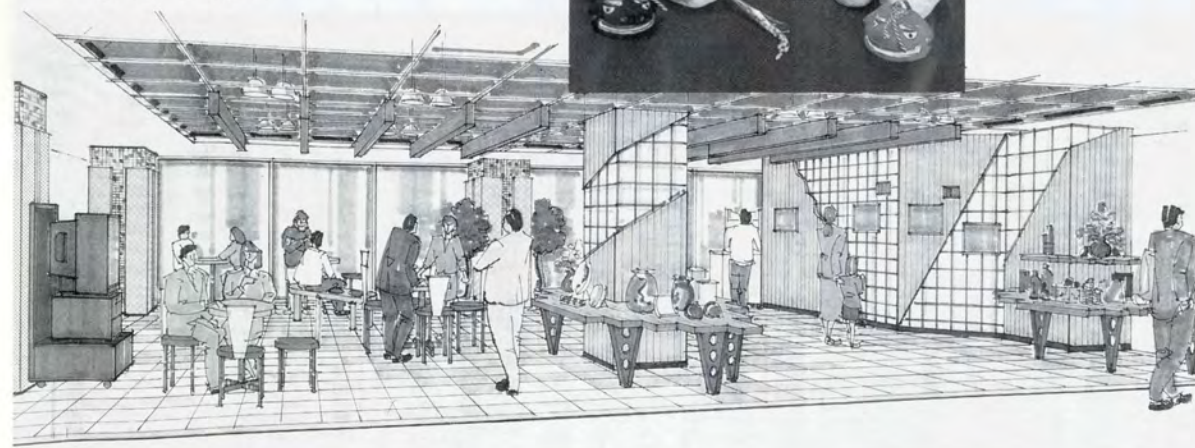
- ・加工食品／地酒、水産加工品、農産品、
名水、銘菓、米飯（ますの寿司）他
 - ・伝統民芸品／ひょうたん、和紙製品、
木彫獅子頭、土人形、竹細工他
 - ・現代民芸品／ガラス工芸品、陶芸製品、
革クラフト、木製インテリア他
 - ・伝統工芸品／和紙、木彫、銅器他
 - ・富山のくすり
- 営業時間／AM 10:00～PM 8:00

R
ELAX

情報休憩ゾーン

“名水で潤う、
ゆとりのオアシス・スペース”

ゆったりと座って全国名水百選選定の
富山の名水を味わいながら、映像で観光
情報が楽しめるリラックス・スペースで
す。富山の各地に設置されたカメラを通
してリアルタイムな映像がとどけられる
とともに、ハイビジョン映像が観賞でき
る気軽なスペースです。





撮影／赤羽仁諭

PTN UP TOYAMA

酒祭り

(小矢部市)

飲めや、飲めやと
賑やかに
二十五歳の若衆が
一年の幸せ願う
春祭りの日



県民ニーズに対応した医療体制の確保に向けて

レポーター： 源通 薫さん(ミスオヤベ)

人口の高齢化、医療の高度化、疾病構造の変化、医師や看護婦の確保など、現代の医療を取り巻く環境には、いくつかの課題があります。

医務課では、これらに適切に対応し、県民に信頼される医療体制をつくるため、さまざまな事業を行っています。

皆さんの中で、今まで一度も医療機関を利用したことのない方はいないと思います。そんな医療機関を影で支えているのが、今回おじゃました医務課なのです。この課は、県民ニーズに対応した医療体制の確保をモットーにしていますが、では、実際にどのような仕事をしているのでしょうか。私が見て感じたことを交えながら紹介します。

信頼される医療体制の確保

私たち県民が、いつでも必要な時に適切な医療が受けられるようにするために、医療課ではさまざまな事業を進めています。まず一つめには、県民に信頼され安心して医療機関を利用してもらえるように、施設・設備を充実させることが挙げられます。この一環として現在、県立中央病院の全面改築が行われています。また、富山赤十字病院など老朽化した三つの民間病院の改築も検討されています。二つめには、マンパワー（医療従事者）の確保があります。特に看護婦の確保は重要な課題となっています。現在、県内では約九千人の看護婦さんが働いているそうですが、平成十二年には、一万二千人の看護

婦が必要になると予想されています。そのため、PR事業や潜在看護職員の発掘等を行い人材の確保に努力しています。そして三つめには、救急医療・へき地医療の推進や医療情報システムの整備があります。

県民に信頼される21世紀の病院

次に訪問したのは、県立中央病院です。現在改築中で、今年六月一日の新病棟のオープンに続いて、平成七年までにはすべての施設が完成する予定です。早速、総看護婦長の稲田さんに、どんな所が新しくなるのか、説明していただきました。

まず、「日本一の健康県づくり」を担う基幹総合病院としてハード、ソフトとも大幅に充実します。

ハード面では、最新の医療機器が整備されるほか、診療部門、病棟部門ともゆとりと、安らぎの空間を取り入れます。各病棟ごとに、風呂や食堂が設置されるそうです。

ソフト面では、総合情報システムや総合画像システムの導入により、より正確で、効率的な医療を受けることができます。



戴帽式



優秀な人材の養成

最後に、富山県立総合衛生学院を訪れました。ここは、保健婦、助産婦、看護婦を養成している学校です。県内にはこうした養成学校が十四校あるそうです。ちょうど、入学試験の日で、看護婦をめ



▼完成予想図



また、診療の予約制、自動搬送システムが導入され、待ち時間が短縮されるなど、患者サービスが向上します。また、人生の最期を迎えた患者に自由につくりと過ごしてもらう「ターミナルケア病棟」が設置されます。この他にもいろいろな面で高度化される新しい県立中央病院は患者本位の素晴らしい病院となります。



▲医務課福岡課長

今回の取材で、私は普段何気なく利用している医療機関の裏で、多くの人たちが私達の健康を支えるために、一生懸命に働いている姿を目のあたりにしました。そして改めてその仕事の大切さを実感し、心から感謝したいと思いました。

◎ 校生等が三・六倍の難関にいどんでいました。この学院では、生徒の自主性を生かした、ゆとりのある教育を行っており、学校の中では生徒達が遅くまで、意欲的に実習記録を書いたり、勉強をしていました。

「看護の心」は、人を好きになることが大切で、そこから看護婦としての自覚と責任が身についていくのだそうです。生徒は、臨床実習などの厳しいカリキュラムに耐えて、感性豊かで、心の優しい看護婦になっていくのです。

ふるさと
みてある記

大山町

大山町の県営 Gondolas スキー場は、パラグライダーに適した地形、風、輸送手段の三つの好条件が揃っており、日本でも有数のパラグライダーのメッカとなっている。週末には東京や大阪、名古屋など県外からもたくさんの若者たちが集まってくる。この Gondolas スキー場でインストラクターとしてスクールの開校している扇沢さんに話を聞いた。

風に身をゆだね、空中散歩する パラグライダーインストラクター 扇沢 郁さん

▲パラグライダーインストラクター 扇沢 郁さん

「パラグライダーは誰でも気軽に始めることができるスポーツ。県内でも六十代でやっている方もおられます。一度始めたら、その爽快感にやみつきになると思いますよ。」扇沢さんは普段はスクールでパラグライダーの面白さを教えるかたわら、自らも世界選手権の対象選手として全国各地で行われる大会に参加している。「毎年五月と十月に Gondolas スキー場で全国大会が行われるんです。全国各ブロックの代表選手百人ほどで、スピードと距離を競い、年間を通して高い得点をあげた上位七名が、来年スイスで行われる世界選手権に出場できるんですよ。扇沢さんは、これまでも日本代表選手としてフランスやオーストリアの大会に出場した実績をもつ。パラグライダーは、すごく奥の深いスポーツ。風や気象条件を読まなきゃいけないし。でも誰でも、自分の力で飛ぶことができるんですよ。上昇気流に乗って大空に舞いあがり、鳥の目で雄大な富山平野を眺望する。話を聞いているだけで爽快な気分になりました。」



▲スクールではだれでもパラグライダーを楽しめる

お茶うけに、ご飯に 名物を次々と生み出す おばちゃんパワー 「薬師会」

大山町で、ちよつと変わったせんべいを考案し、特産物として売り出している農婦人グループがある。「薬師せんべい」なるこのせんべい、昔なつかしいカルシウムせんべいに、「モロヘイヤ」というエジプト原産の緑黄色野菜の粉をまぶしたものである。これを作っている「薬師会」の代表である田近幸子さんに話を聞いた。



▲「薬師会」の皆さん

「薬師会」でつくっている商品の数々



大山町の概要

人口 10,961人(1月1日現在、県人口統計調査より)
面積 572.32km²

優雅な薬師岳とその姿を写す有峰湖など、大自然に恵まれている。山裾には北陸最大のスキー場が広がる。またオールシーズン家族でスポーツが楽しめる家族旅行村もあり、県内随一のレジャーゾーンとなっている。

「三年ほど前に、お隣の石川県で、モロヘイヤを野菜として出荷している所を視察したんです。モロヘイヤは栄養価が高いし、暑さにも強いということで、転作の作物として植える農家が結構あるがです。それでうちとこでもこのモロヘイヤを使った特産物を何か作りたいと思いたがです。そこで薬師会では町の農産物活用コンクールに、このモロヘイヤせんべいを出品。すごく評判がよかったんです。それで町の人にも協力してもらい、商品化してみたがです。以来、このせんべいは飛ぶように売れている。薬師会の金山さんは、「口コミでどんどん広がっていった、今では岐阜の方からも買いに来るお客さんがいるんですよ」とニコニコと話す。薬師会ではこのせんべいの他に、昔なつかしい「こおりもち」や漬け物なども販売している。どれも発売一年で三〜五倍に売上げが伸びたというヒット商品だ。「袋詰めとか箱詰めとか、年々大変になってきたるがに、みんな和気あいあいとしてくれますちゃ。今度モロヘイヤのお茶を出そうかと思ってますけど、味どうですか？」研究熱心なこの田近さんの姿勢。なるほどな！と思っ



▲カムローズの学生さんのお点前を披露。

「大山カムローズ友の会」の宮本さん、高木さん、早水さん(左から)

普段着の国際交流をめざして 大山カムローズ 友の会

「最初はお互い言葉は通じないし、本当に身振り手振りで会話をすると、という感じてした。でも寝食を共にしていると、まず年の近い子供たちが仲よくなっていっていったという感じがですね」と語るのは、大山カムローズ友の会会長の高木重信さん。

昭和六十年九月、カナダ・カムローズ市の市長夫婦が大山町を表敬訪問した。それ以来、ホームステイや親善訪問を通して、活発な文化交流が行われている。「大山カムローズ友の会」は、町民が中心となって国際交流を進めるグループで、昨年六月に発足。会員は、昨年カムローズ市から訪れたハイスクールの学生を受け入れたホストファミリーの方々で構成されている。最初ホームステイにやってきた学生さんなんか、おはしを使うときにドキドキしているんですね。でもお刺身とか天ぷらとか、何でもおいしそうに食べてました。また、こちらの生活様式にもすぐに慣れましたね。あと、あまり感情をむき出さずに慎み深い所もすごく親近感もてました。と話す早水さんは、婦人の翼の団員として、ヨーロッパ各地を視察した経験をもつ。ご夫婦でハイスクールの校長先生宅にホームステイして以来、家族ぐるみのお付き合いが続いているという宮本さんは、「ごく普通の家庭にカナダの学生さんを招待することによって、外国人に対する妙な偏見はなくなりましたね。また、子供たちも、もつと会話ができるようにと、一生懸命英語を勉強するようになりました」と言う。会としてはこれから、外国の方を招いたパーベキュー大会や英会話教室を通して、町民ぐるみの国際交流をすすめていきたいとのこと。「これからは学生さんだけでなく、お互いにお酒をのんで楽しめるような、大人の交流も深めていきたいですね」と抱負を語る高木さん。町のあちこちで町民と外国人の談笑するシーンが見られるのも近い!?

母子・父子家庭等 電話相談のご案内

子どもの教育など日常生活での悩みや各種の福祉施策について相談を行っていますので、気軽にお電話をください。
(秘密は厳守します。また、匿名でも相談に応じます。)

(電話受付時間)
祝祭日を除く毎土、日曜日の午前10時から午後4時まで

(開設場所)
富山市舟橋南町5の14
富山県社会福祉会館内
財団法人母子寡婦福祉連合会

☎0764・32・4298

老人保健制度 改正のお知らせ

今回の改正により、平成4年1月からお年寄りが医療機関の窓口で支払う一部負担金が、外来についてはこれまでの1日800円が900円に、また入院についてはこれまでの400円が600円に変更になりました。詳しくは、県庁高齢福祉課、または市町村老人医療窓口へおたずねください。



3月は納税 強調月間です

県では、3月を「納税強調月間」として、税の仕組みや役割について、みなさんにご理解をいただくとともに、まだ納めていない税金については、早急に納めていただくようお願いしています。

なお、県税について疑問やお困りのことがありましたら、お気軽に、最寄りの県税事務所へご相談ください。

●しあわせ富山 ささえる県税● 県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所まで納めてください。

●県税の所管区域図(平成3年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡下さい。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖父211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
市町村の税金は市役所または町村役場へ

スパイクタイヤの使用に 罰則が適用

4月1日から

スパイクタイヤ規制法に基づいて、積雪凍結道路以外でのスパイクタイヤの使用は禁止されており、指定地域内では本年の4月1日からは違反した場合、10万円以下の罰金が科せられます。ただし、大型車については、平成5年3月31日まで使用禁止及び罰則の適用を猶予しています。



冬道の主役は「スタッドレスタイヤ」とあなたの「安全運転」です。

※指定地域

スパイクタイヤの使用が禁止される地域として、富山県では8町村(庄川町、井波町、井口村、城端町、福光町、平村、上平村、利賀村)を除く、27市町村が指定されています。

※法律では、あくまでスパイクタイヤの使用禁止が原則です。罰則適用の受けない非指定地域、あるいは積雪凍結路でも、スパイクタイヤを使用しないことを求めています。

「もしも富山が主役」 啓発標語が決まりました。

富山県では、今年開催の「エキスポとやま博」をはじめ、「インタハイ」、「国民文化祭」、「2000年国体」などのビッグイベントを控え、県内を訪れる観光客をあたたく迎える運動として「ようこそ富山キャンペーン」を展開しています。その一環として昨年7月にこのキャンペーンの啓発標語を広く募集したところ、1,230点の応募があり、審査委員会を開いて厳正に選考した結果、次のとおり決定しました。(紙面の都合上、佳作作品は省略します。)

◎最優秀作品

「逢う旅に心ふれあう いい富山」

(応募者) 入善町 入善小学校3年C組一同

◎優秀作品

「もてなしは一人ひとりのあなたが主役」

(応募者) 大沢野町 光塚誠一(84) 無職

「ようこそと富山の温もり あなたから」

(応募者) 氷見市 村田美代子(48) 主婦

「あなたにもできる笑顔のふるさとガイド」

(応募者) 小矢部市 赤井武次(52) 自営業

1月14日 富山県農業者の集い



文化の県づくり懇話会

1月16日 富山県農業の新規担い手確保対策検討会の知事への報告

雪美のひろば・スノーアートとやま'92点灯式

1月17日 富山県高度情報ネットワーク開局記念式典

第8回日本雪工学会富山大会

第45回富山県体育大会冬季大会スキー競技会開会式(～21日)

1月18日 青年・婦人の翼報告展



「北方領土の日」記念事業

1月24日 富山県農業農村整備事業管理計画シンポジウム

2月1日 省資源・省エネルギー運動富山県民大会

2月2日 第7回冬季県民レクリエーション大会(雪のシンフォニー)

2月7日 まちのかお講演会



第1回2000年国体等懇話会

2月8日 美との対話'92(～3月29日)



2月9日 第1回太閤山ランド冬の親子ふれあい大会

平成3年度 富山県公文書館企画展・開催

テーマ 「博覧会に見る富山県のあゆみ」

期 間 3月16日(月)～5月15日(金)

場 所 富山県公文書館展示ホール(富山市茶屋町33の2)

入 場 料 無 料

内 容

- 連合共進会
- 日満産業大博覧会
- 高岡産業大博覧会
- 富山産業大博覧会
- につぼん新世紀博覧会
- 第一回ジャパンエキスポ富山'92

問合せ 0764・34・4050

平成4年 4月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
1 水	氷見市「サンパークひみ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
4 土	J R 富山駅前	10:00～16:00
11 土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
12 日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
13 月	庄川町役場前	10:00～15:30
18 土	富山西武デパート前	10:00～16:00
19 日	富山西武デパート前	10:00～16:00
20 月	大沢野町役場前	10:00～15:30
26 日	J R 高岡駅前	10:00～15:30
29 水	砺波市チューリップフェア会場	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除)、献血を受け付けています。

●富山の作家シリーズ・「世代にみる富山県の作家たち」展(30代以下)

富山県民会館美術館では、富山の作家シリーズ「世代にみる富山県の作家たち」展(30代以下)を開催します。

本展は、県内在住作家を、60代以上、50代、40代、30代以下の四つの世代層に分け、各世代の作品を通じて、富山県の美術界の動向や特徴を4回シリーズで紹介しているものです。

シリーズ最終回となる今回は、30代以下の作家に焦点を当て、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門から近作合わせて約130点を展示します。

期 間 3月6日(金)～24日(火)

場 所 富山県民会館美術館

入 場 料 一般 210円
生徒・児童 100円

問合せ 富山県民会館文化事業課 文化係 0764・32・3111(内線251)

富山県高岡文化ホール音楽友の会 第27回コンサート・開催 「津堅 直弘」(トランペット)

津堅直弘さんはNHK交響楽団首席奏者であり、我が国トランペット界の第一人者です。今回は、トランペットが、現在のメカニズムを持つまでに通った歴史を、実際にその機構を説明しながら、ピストンの全く無いナチュラル・トランペットや、木管楽器のような鍵が付いたキー・トランペットなど、いくつかの古い楽器で演奏します。

〈日時〉3月27日(金) 19時開演

〈場所〉富山県高岡文化ホール 大ホール

〈問合せ〉富山県高岡文化ホール 0766・25・4141

富山県立近代美術館 企画展

富山県立近代美術館では、収蔵作品のなかから日頃紹介する機会のない作品を次の3つのコーナーで展示します。

ポスターコーナー

現在活躍中のアートディレクター20名の作品約100点を展示。

瀧口修造・ミロ・デュシャンコーナー

瀧口修造のデカルコマニー(転写法)作品全100点のほか、ジョアン・ミロとの共同制作による詩文集などを展示。

富山県立近代美術館賞の作品コーナー

若手作家の登竜門として知られる日本現代美術展、日本国際美術展の受賞作品などを展示。

期 間 3月29日(日)まで

観覧料 一般200円 高大生160円
小中生100円

問合せ 0764・21・7111

3月21日(土)は臨時閉館となります。

「美との対話'92」

「富山の冬100選」募集

全国に誇る富山の冬の魅力を「富山の冬100選」として選定し、広くPRすることにより、富山県の冬季観光の振興を図ろうとするものです。

皆さんお気に入りの富山の冬の風景、味覚、冬の楽しみなど、全国に紹介したい、富山ならではの冬の魅力をどんどん応募下さい。

応募要領

郵便ハガキに、推せんする冬の「魅力」の名称及びその内容(50字程度)、住所、氏名、年令、職業、電話番号を記入してください。作品は一人何点でもかまいませんが、ハガキ一枚につき一点とします。

締め切り 平成4年3月21日(当日消印有効)

送付及び問合せ先 〒930 富山市新総曲輪1の7 富山県観光通商課内富山県観光連盟「富山の冬100選」募集係 0764・31・4111(内線3658)

プレゼント

「富山の冬100選」に選定された方の中から抽選でステキなプレゼントを差し上げます。

■旅行券(10万円)	1人
■県内ホテル・旅館ペア宿泊券	2組
■立山黒部アルペンルートペア乗車券(立山→黒部湖間往復)	10組
■黒部峡谷鉄道ペア乗車券(往復)	10組

表2 エッセイ／福永鳴風

P11 ひと／島田誠治

P2 ①スノーアートとやま'92

②高度情報ネットワーク開局記念式典

③北方領土の日記念事業

④省資源・省エネルギー運動富山県民大会

P6 特集／富山観光物産センターオープン

P10

PIN UP TOYAMA

撮影／赤羽仁諭

P12 県庁探訪／医務課

P14 ふるさとみてある記／大山町

P16 県からのお知らせ

●表紙撮影／滝川邦彦（日本写真家協会会員）

第七回冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」が二月二日、好天に恵まれた城端町の城南パークと城端中学校グラウンドで開催され、約三千人が参加しました。

雪上運動会や雪上ゲーム、雪の造形など多彩なプログラムに参加者たちは心ゆくまで雪に親しみ楽しんでいました。



県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

消費生活については

消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については

富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番
家庭問題・悪質商法・覚えい刑など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)32-0110

シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

テレビ広報

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45
「志の輔・陽子のふるさとトーク」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」※翌日同時時間再放送
- 3/1 広がる環日本海交流
- 3/8 最前線で活躍いきいき長寿社会
- 3/15 町づくりにふるさと融資
- 3/22 ふるさと県民オペラ開催
- 3/29 平成4年度予算スタート
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろばークイズ/フォーカス・イン」

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

♥北方領土キャンペーンの後、ミスの方々と記念写真を撮った。できあがってきた写真には、デレっとした私の顔。でも、美女に囲まれたらだれでもこうなるのでは。

(A)

◆取材で訪問した「薬師会」。お忙しい中での取材だったにもかかわらず、ほとんど私が質問する間もなにくらいにしゃべられるし、笑われるし。とにかく皆さん底抜けに明るかった。

せんべいもおいしかったけど、何と言ってもおばちゃんたちがいい味を出していた。

(T)

★森の案内人「森林インストラクター」の試験には予想を超える志願者が殺到したそうです。森林インストラクター第一号の島田さんと一緒に受験していたある大手の熟年商社マンは「もう疲れた。余生をのんびりと自然の中で過ごしたい」としみじみと語っておられたとのこと。世はまさに「モーター」から「ゆとり」の時代へと移行変わろうとしています。(M)

とやまの心象
「建築百選」以降

回廊のあふ風景

ヘインテック大山研修センター



一九九〇年、突如出現した「現代伽藍」とでも言うような建築が生まれた。コンクリート打ち放しの外壁に、欧州的色彩を感じさせる日本瓦を載せた現代建築である。用途は宿泊研修を主とするのだが、我々に「研修」とは何かを問いかけるような造形である。各棟によって囲まれた空間に「回廊」をまわし、それによって棟を結ぶという機能と、柱列という造形が創り出す不思議な聖と静、そして深い思索と美を感じさせる時の流れが迫ってくるようである。

この建築は、隣接する富山国際大学の建築群と統一したデザインで計画されたものである。このような事例は稀なことだけに、学べき点も多いように思われる。また、大学の配置計画が分散する形で分棟方式であるのに対して、この研修施設はやはり分棟でありながら内に向かった世界を創出している建築でもある。建築全体が一つの「集落」として、内から束ねられているような印象を与えている。たぶん、回廊がこのような効果をもたらしているのだから、各棟の内空間(回廊側)に向かって語りかける表情もそれぞれに計算され、回廊を歩く者を魅了してやまない。

ところで、現代建築の屋根のことだが、我々日本人は案外勘違いをしている民族かもしれない。筆者が説明するに、「コンクリート云々で、日本瓦を載せた現代建築」であるとかわざわざ言うには、それだけ珍しい組合せだからである。コンクリートを主体構造の素材に使った現代建築と言えば、さも勾配屋根のないのが正しく、立派で



あるかのように思い込んでいるのではなからうか。気候風土を無視した建築ほど、無駄で不自然なものはない。世界有数の降水量を誇る日本建築がどんな構造であれ勾配屋根でないのはどこか無理をしているような印象を与える。欧米でも、アジアでも勾配屋根が原点であり、それぞれが美しい造形を継承している。まして「屋根の建築」とか、「葺の美」と言われる日本建築が屋根を忘れて久しい今日、この研修施設が国際化時代への対応という視点から色彩計画の標準をそこに合わせながらも、屋根を日本瓦で葺き、かつ見事に調和させた力量は称賛に値する。どこことなく木造建築の香りが感じられるのも、建築家が読み込んだ仕掛けなのかもしれない。

「打ち放しの外壁の仕上がりは、授かりものです。建築する行為とは、神仏との対話のようなものです。建築家はもっと謙虚にならなければいけませんね」

何かが観え始めた建築家には、こんな建築が授けられるものかと思つた。また、回廊を歩いてみたくなった。街の中にも、人の心にも、「回廊」は必要である。



写真／風間耕司(日本写真家協会会員)
文責／岡田順一(富山エディターサロン会員)

★募集●DJ・アナウンサー●アシスタントディレクター(スタジオスタッフ)/各10名程度 ★応募資格●18歳以上の方なら、どなたでもOK。★応募方法●履歴書(写真つき)、応募理由(DJ・アナウンサー希望の方はデモテープを添える。内容は自由)、返信用封筒(62円切手を貼る)をお送り下さい。★応募宛先・問合せ先●〒930 富山市丸の内1の8の10 FMとやま内ピーチスタッフ募集係 ☎0764-42-5533 ★応募締切●平成4年3月末日

Pi:ch

(JET-FM局の愛称)

バックアップ スタッフ募集!!

JET-FM放送局実行委員会では、エキスポとやま博の開催期間中に県民の皆さんが企画、出演、番組制作、運営を行う初の手づくり放送局(Pi:ch)を7月5日に開局します。今、この運営スタッフを広く一般から募集しています。

音楽やおしゃべりの好きな人、楽しいことが大好きな人、遊び感覚でご応募下さい。



JET '92

FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92 第1回ジャパンエキスポ富山'92

会期/平成4年7月10日金-9月27日(日)80日間 会場/県民公園太閤山ランド